

アカデミア創薬セミナー

演題: TGF- β シグナルとがん

講師: 宮園 浩平 先生

東京大学大学院医学系研究科 教授

日時: 平成30年6月8日(金) 17:00 ~ 18:00

場所: 長崎大学薬学部2階 第2講義室

TGF- β は多くの細胞の増殖を抑制する一方で、上皮細胞の間葉系細胞への分化(上皮間葉転換:EMT)を促進する作用をもち、がんの進展抑制と促進の両方に働く。TGF- β によってがん細胞でEMTが起こると運動能の亢進が見られ、細胞外マトリックスを分解して浸潤・転移が促進される。一方でがん微小環境に存在する上皮細胞にはがん細胞由来のTGF- β が作用してEMTが誘導され、これらの細胞はがん細胞に作用して浸潤・転移を促進するという相互作用が働くと考えられる。TGF- β が作用するとSmadを介したシグナル経路とSmadを介さない経路の双方が活性化される。Smad経路が活性化されると、Snailなど種々の転写因子が活性化されEMTが誘導される。一方でNkx2-1/TTF-1は肺がんが発現している転写因子で、TGF- β によるEMTを抑制する働きを持つ。本セミナーでは最近のTGF- β とがんの関連について、とくに膵臓がんと肺がんを中心に最近の我々の研究成果を紹介したい。

【主催】 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 アカデミア創薬ユニット

【共催】 長崎大学先端創薬イノベーションセンター

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 分子標的医学研究センター

長崎大学薬学部 下村脩博士ノーベル化学賞顕彰記念創薬研究教育センター

問合せ: 長崎大学医歯薬学総合研究科 細胞制御学分野・武田 弘資

TEL: 095-819-2417

E-mail: takeda-k@nagasaki-u.ac.jp